平成26年２月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年６月28日

上 場 会 社 名	株式会社きょくとう	上場取引所	大
コ ー ド 番 号	2300	URL	http://www.cl-kyokuto.co.jp
代　　表　　者	（役職名） 代表取締役社長	（氏名）	牧平　年廣
問合せ先責任者	（役職名） 経理部長	（氏名）	川崎　昌之　　(TEL) 092-503-0050
四半期報告書提出予定日	平成25年７月12日	配当支払開始予定日	―

四半期決算補足説明資料作成の有無　　：無
四半期決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．平成26年２月期第１四半期の業績（平成25年３月１日～平成25年５月31日）

（１）経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年２月期第１四半期	2,440	6.5	481	14.1	508	16.3	291	23.9
25年２月期第１四半期	2,291	4.3	421	2.4	436	2.8	235	15.9

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年２月期第１四半期	52.61	―
25年２月期第１四半期	42.47	―

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年２月期第１四半期	6,085	3,805	62.5
25年２月期	5,228	3,542	67.7

（参考）　自己資本　　26年２月期第１四半期　　3,805百万円　　25年２月期　　3,542百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年２月期	―	5.50	―	5.50	11.00
26年２月期	―				
26年２月期(予想)		5.50	―	5.50	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．平成26年２月期の業績予想（平成25年３月１日～平成26年２月28日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期(累計)	4,100	5.0	539	24.3	564	18.9	294	15.6	53.22
通期	7,100	5.3	431	112.6	470	76.5	245	115.9	44.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

※　注記事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　有

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　有

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　有

④　修正再表示　　：　無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年２月期１Ｑ	5,551,230株	25年２月期	5,551,230株
②　期末自己株式数	26年２月期１Ｑ	9,581株	25年２月期	9,581株
③　期中平均株式数（四半期累計）	26年２月期１Ｑ	5,541,649株	25年２月期１Ｑ	5,541,640株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）３ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 4
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期財務諸表 …… 5
（１）四半期貸借対照表 …… 5
（２）四半期損益計算書 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）セグメント情報等 …… 8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

当第１四半期累計期間におけるわが国経済は、金融緩和や各種経済対策の効果により、株価の上昇と為替相場が円安で推移したことから、企業収益に回復傾向が見られました。個人消費におきましても、消費マインドが改善するなど、景気回復への期待感が高まっております。

当社におきましては、経営革新３カ年計画の２年目として、新しいマーケットの開拓とプラント化の推進に取り組みました。

具体的には、平成25年２月28日付で事業の一部譲受けにより取得したホープクリーニング神戸（神戸市西区）が３月１日より営業を開始し、４月１日には西足立プラント（東京都足立区）を事業の一部譲受けで取得し、営業を開始しました。加えて、広島工場（広島市西区）の生産の効率化を図るため３月23日に東雲プラント（広島市南区）を新たに開設しました。これにより、工場・プラント数は55工場・プラントとなり、店舗数は前事業年度末に比べて76店舗増加しました。

販促活動として、春の最需要期に「春のプレゼントキャンペーン」を全社で実施し、好調に推移しました。また、「特別会員50万人計画」の達成に向けて、昨年度の取り組みを継続して、工場・プラントのスタッフによる営業活動の展開、誕生日プレゼントの活用等が成果を上げております。

生産面におきましては、「女性班長」を中心とした生産性改善の継続した取り組みにより、工場・プラントの生産性はめざましい成果を上げました。

以上の結果、当第１四半期累計期間の業績は、売上高は2,440,258千円と前年同四半期と比べ148,430千円（6.5%）の増収となりました。

利益につきましては、営業利益は481,068千円と前年同四半期と比べ59,338千円（14.1%）の増益、経常利益は508,246千円と前年同四半期と比べ71,266千円（16.3%）の増益、四半期純利益は291,585千円と前年同四半期と比べ56,204千円（23.9%）の増益となりました。

なお、当社の属するホームクリーニング業界は、通常の場合、春の衣替えの時期に重衣料が洗濯物として出されるため春場に最需要期を迎えます。したがって、当社の売上高は、第１四半期に偏る傾向があり、四半期の業績に季節的変動があります。

（２）財政状態に関する定性的情報

（資産）

流動資産は、前事業年度末に比べて551,426千円増加し、2,330,251千円となりました。これは、現金及び預金が460,716千円、売掛金が74,168千円増加したことなどによります。

固定資産は、前事業年度末に比べて305,893千円増加し、3,755,737千円となりました。これは、有形固定資産が289,166千円増加したことなどによります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて857,319千円増加し、6,085,988千円となりました。

（負債）

流動負債は、前事業年度末に比べて489,635千円増加し、1,377,315千円となりました。これは、未払法人税等が196,010千円、未払金が171,885千円増加したことなどによります。

固定負債は、前事業年度末に比べて103,737千円増加し、902,696千円となりました。これは、長期借入金が78,255千円増加したことなどによります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて593,373千円増加し、2,280,012千円となりました。

（純資産）

純資産合計は、前事業年度末に比べて263,946千円増加し、3,805,976千円となりました。これは、利益剰余金が261,106千円増加したことなどによります。

（３）業績予想に関する定性的情報

平成26年２月期の業績予想につきましては、平成25年４月12日に発表した業績予想と同じであり、変更はありません。

今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期会計期間より、平成25年３月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第１四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益はそれぞれ825千円増加しております。

３．四半期財務諸表
（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成25年２月28日）	当第１四半期会計期間 （平成25年５月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,497,919	1,958,636
売掛金	46,779	120,947
商品	22,510	26,000
原材料及び貯蔵品	20,227	21,692
前払費用	70,721	78,684
その他	120,665	124,290
流動資産合計	1,778,824	2,330,251
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	515,083	575,181
土地	1,900,740	2,103,302
その他（純額）	130,778	157,283
有形固定資産合計	2,546,602	2,835,768
無形固定資産		
のれん	56,577	68,680
その他	47,942	45,188
無形固定資産合計	104,520	113,869
投資その他の資産		
差入保証金	539,059	542,164
その他	259,661	263,935
投資その他の資産合計	798,721	806,099
固定資産合計	3,449,843	3,755,737
資産合計	5,228,668	6,085,988
負債の部		
流動負債		
買掛金	33,686	64,061
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	197,684	215,583
未払金	302,198	474,083
未払法人税等	24,520	220,530
賞与引当金	36,081	32,240
役員賞与引当金	3,050	－
ポイント引当金	142,656	157,002
資産除去債務	217	421
その他	47,586	113,393
流動負債合計	887,680	1,377,315

（単位：千円）

	前事業年度 （平成25年２月28日）	当第１四半期会計期間 （平成25年５月31日）
固定負債		
長期借入金	373,124	451,379
退職給付引当金	101,800	101,805
役員退職慰労引当金	119,075	119,394
資産除去債務	93,864	100,313
その他	111,094	129,803
固定負債合計	798,958	902,696
負債合計	1,686,638	2,280,012
純資産の部		
株主資本		
資本金	555,092	555,092
資本剰余金	395,966	395,966
利益剰余金	2,597,369	2,858,475
自己株式	△3,130	△3,130
株主資本合計	3,545,297	3,806,404
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△3,267	△427
評価・換算差額等合計	△3,267	△427
純資産合計	3,542,030	3,805,976
負債純資産合計	5,228,668	6,085,988

（２）四半期損益計算書
第１四半期累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期累計期間 （自　平成24年３月１日 至　平成24年５月31日）	当第１四半期累計期間 （自　平成25年３月１日 至　平成25年５月31日）
売上高	2,291,828	2,440,258
売上原価	588,284	616,614
売上総利益	1,703,544	1,823,644
販売費及び一般管理費	1,281,814	1,342,576
営業利益	421,729	481,068
営業外収益		
受取利息	129	269
受取配当金	150	150
受取家賃	7,902	8,414
その他	9,176	19,876
営業外収益合計	17,358	28,710
営業外費用		
支払利息	1,364	1,528
その他	743	2
営業外費用合計	2,108	1,531
経常利益	436,979	508,246
特別損失		
固定資産除却損	25	835
その他	1,800	－
特別損失合計	1,825	835
税引前四半期純利益	435,154	507,411
法人税等	199,773	215,825
四半期純利益	235,381	291,585

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

当社は、ホームクリーニング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。